

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために…

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 7 号

発行日 平成 23 年 11 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

J R 宇都宮線の利便性向上に取り組みます！

矢板市は今年 4 月からスタートした新しい総合計画において、片岡地区への新幹線新駅の設置計画を正式に断念しました。

そこで私『さいとう淳一郎』は、これまで新幹線新駅の設置計画に隠れがちだった、在来線である J R 宇都宮線の利便性向上について、栃木県政の立場から J R 東日本に対して、次の 2 点を要望していきたくて考えています。

1 番目の要望は、宇都宮発の終電、最終電車を遅らせてもらうことです。現在の宇都宮発黒磯行きの終電は 2 2 時 4 5 分、夜の 1 0 時 4 5 分です。これですと、もう少し宇都宮で仕事をしたい方、または宇都宮でもうちょっと一杯やっていきたくてという方、さらには新幹線を利用して東京方面から戻ってくる方にとっては、少々早すぎる、物足りない終電の時間です。

そこで夜の 1 1 時台に終電を走らせてもらうことによって、宇都宮と矢板とを行き来する方の便宜を図っていきたくて考えています。こうした取組を通じて、矢板駅と片岡駅とを乗り降りする人を一人でも増やし、矢板市の人口増加のきっかけを作っていきたくて考えています。

2 番目の要望は、現在、東京都心と宇都宮とを結んでいる湘南新宿ライン、2 階建てグリーン車が連結されている、一部、快速運転もされている湘南新宿ラインを黒磯まで延伸してもらうことです。湘南新宿ラインが矢板駅と片岡駅に停まることによって、矢板市内と東京都心の池袋、新宿、渋谷、さらには横浜といった主要なターミナル駅が一本の列車で結ばれ、直通運転されるようになります。

このことによって東京都心から一人でも多くの方を矢板に呼び込み、矢板市の交流人口の増加、さらには定住人口増加のきっかけづくりにしていきたくて考えています。

【写真】

東京都心と宇都宮とを結んでいる湘南新宿ライン

